



ガンマナイフ inside 同志による治療の核心

Vol.17

抗癌剤の効果が期待される脳転移における ガンマナイフの費用対効果について知見を深める

Clinical outcomes and cost-utility analysis of GKRS plus TKIs versus TKIs in patients with EGFR-mutant lung adenocarcinoma and brain metastases: a Markov decision model

J Neurosurg. 2025. Jan 10: 1-10. Online ahead of print.



※本内容はnoteでも公開中です。図表構成など一部内容は異なりますが、過去の抄読会記録も順次公開しています。ぜひ併せてご覧ください。

紹介担当 洛西シミズ病院 川邊拓也

(ガンマナイフ同志)

大田記念病院 中崎清之

国立循環器病研究センター 森久恵

新須磨病院 近藤威, 梶本裕人

岡村一心堂病院 蓮井光一



【この論文の独自性】

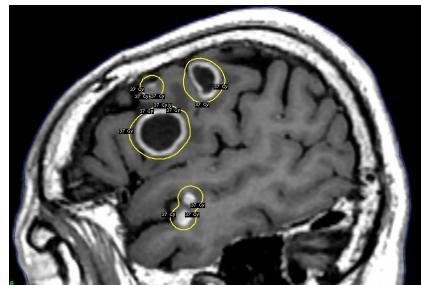
脳転移に対して効果の期待される分子標的薬にガンマナイフを上乗せする効果を費用対効果からも検証した。

【要点】

台湾での研究。

EGFR変異肺腺癌の脳転移に対しGKRSとTKIの併用は、疾患の再発を抑制し、予後を改善するだけでなく、より高いレベルの費用対効果を示した。

(ICUR 30,532米ドル/QALY < WTP 33,059米ドル)。



自験例：EGFR陽性肺腺癌の多発脳転移に対してガンマナイフ施行し、TKI併用。

各ガンマナイフ治療医のコメント

- TKIの頭蓋内効果が高い認識から、肺がん治療医がまず初回治療にガンマナイフを選択しなくなっている印象があり、本論文の結論を共有して意見を聞いてみたい。
- ガンマナイフを始めとする放射線治療の費用対効果について我田引水にならないように、ガンマナイフを知らない『経済学者』的な視線を加えた公平な評価が今後議論されるべき。
- 費用対効果の研究はこれから増えていくよう思うが、すでに海外ではガンマナイフ関連ほとんどすべて先行論文があることに驚いた。
- 日本は国民皆保険制度で、どの日本人も最良の質の治療を受けることを国是としているため、費用対効果は馴染まないのではないか。
- 日本では展開しにくい論旨なのか、日本でもこれから増えていくのか、政策にかかわることになる疾患では大規模に行われていくのではないかと。
- OSやPFSだけでなく、患者さんとその後の家族の幸せがどこにあるのかも考えなくてはいけない。

お問い合わせ



社会医療法人

より良い医療を
地域の人々に

岡村一心堂病院

TEL 086-942-9900

FAX 086-942-9929